

科目名	地域のくらしを支える看護Ⅱ	配当時期	2 年次後期	講義担当者
時間割表記名	地域のくらしを支える 看護Ⅱ	単位数	1単位	嶮野さとみ
		時間数	30 時間(15 回)	市場美織 樋口裕也
事前学習内容				
授業目標				
1. 地域包括ケアシステムの意義と概念について理解する。				
2. 「自助」について、健康の保持増進を支援する看護に必要な技術を学ぶ。				
3. 「互助」について、現状の互助組織を理解する。				
4. 「共助」について、地域で生活する人々を支える仕組みを理解し、多職種と協働することについて理解する。				
5. 「公助」について、地域で生活する人々を支える制度や種類を理解する。				
6. 多様な場における看護の実際を理解する。				
DPとの関連				
DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。				
DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。				
DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。				
DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。				
DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。				
授業の流れ				
回	学習内容	方法	備考	
1	1. 地域包括ケアシステム	講義	テキスト①	
2	1) 地域包括ケアシステムとは		第 2 章 C1	
	2) 地域包括ケアシステムの構成要素		テキスト①	
	2. 地域・在宅看護実践の場と連携		第 5 章 C	
	1) 地域・在宅における多職種連携		テキスト②	
	2) ケアマネジメントと社会資源の活用		第 5 章 ABC	
	3. 地域・在宅看護マネジメント		テキスト②	
	1) 地域・在宅マネジメントとは		第 6 章 AB(③)	
	2) 多様な場における地域・在宅看護			
	3) 介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント			

3 4	3. 地域・在宅看護に関わる制度とその活用 1) 介護保険・医療保険制度 2) 地域保健に関わる法制度 3) 高齢者に関する法制度 4) 障害者・難病に関する法制度 5) 公費負担医療に関する法制度	講義	テキスト① 第6章 ADEFGH
5 6	4. 地域包括ケアシステムと「自助・互助・共助・公助」 1) 自助・互助・共助・公助の意義と役割 (1) 健康の保持増進のための自助 (2) 現状の互助組織 (3) 地域で生活する人を支える仕組み (4) 地域で生活する人々を支える制度	講義	テキスト① 第2章 C2
7	5. 病院と在宅との連携 1) 病院で行う地域・在宅看護マネジメント 2) 外来における地域・在宅看護マネジメント	講義	テキスト① 第5章 B(⑥) テキスト② 第6章 B(①②)
8 9	6. 多様な場における看護の実際	講義 個人ワーク	資料
10 11 12 13	6. 多様な場における看護の実際 1) 地域に暮らす認知症高齢者の暮らしと人々が支え合って生きるということの理解 2) 外来治療を受ける人の暮らしと人々が支え合って生きるということの理解 (1) 化学療法を受ける人 (2) 透析療法を受ける人 3) 難病で療養生活を送る人の暮らしと人々が支え合って生きるということの理解 8. 地域に暮らす統合失調症の人の暮らしと人々が支え合って生きるということの理解	グループワーク 事例を通して、A氏の現在の症状や生活上の支援(困りごと)は何か考え、今後の生活について、どのような支援が必要か、関わっている機関・関係者の立場から考える。 * 13 回目は 45 分	資料
14 15	6. 多様な場における看護の実際	全体発表	資料
16	筆記試験(45 分)		
受講上の注意			評価方法 筆記試験 レポート
使用するテキスト ① 系統看護学講座 地域・在宅看護の基盤 医学書院 ② 系統看護学講座 地域・在宅看護の実践 医学書院			

参考文献

- ① 看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護 中央法規
- ② 家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第5版 日本看護協会出版会
- ③ 看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術 メヂカルフレンド社